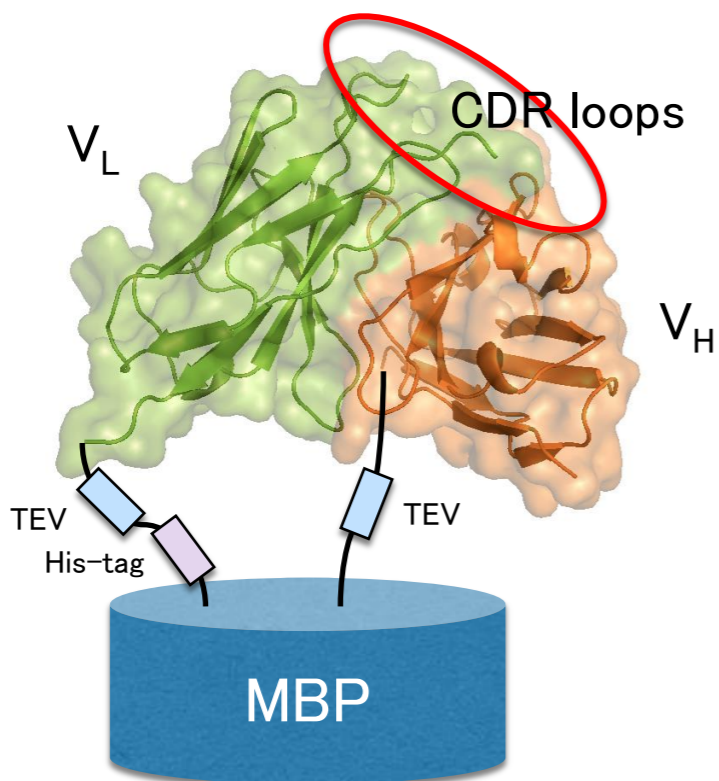


# 結晶化シャペロンとして用いる Fvフラグメントの大量生産技術:IRAT法

## [技術の概要]

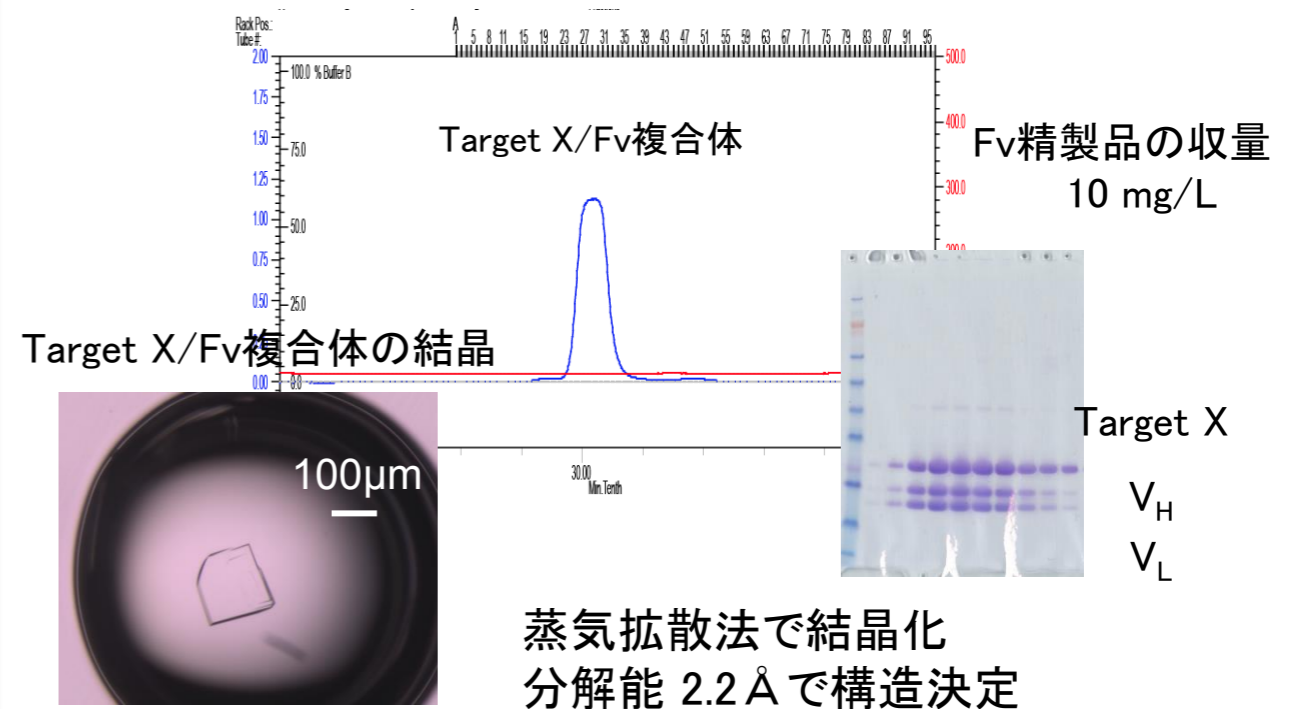
IRAT法 (Intervening Removable Affinity Tag法)

- 膜タンパク質の結晶化用のFv生産法として開発
- 抗体医薬のFv部分 ( $V_L$ 、 $V_H$ ) をMBPを介在させてグラム陽性細菌 (*Brevibacillus*) で分泌発現
- リンカーにTEVサイトとHisタグが挿入
- 簡便・迅速にFvの精製が可能 (5-10 mg/L以上)
- ターゲット分子/Fvを共結晶化することが可能
- 抗体医薬の結合様式・作用機序を解明
- 立体構造を基に低分子リガンド設計に寄与



## [技術の利用例]

- 市販の抗体医薬のFv部分とターゲット分子Xの共結晶化



## 連絡先

[所属] 京都大学

[名前] 小林拓也

[E-mail] t-coba@mfour.med.kyoto-u.ac.jp